

【自分で決める】

体育祭が終わりました。前日の雨が心配されましたが、当日はさわやかな秋晴れとなり、小中合同第1回体育祭を開催することができました。小学校の運動会の良さや中学校の体育大会の良さに加えて、新しく生まれた景色を一度に見ることができました。とはいえ、1回目なので、改善点はあります。次年度、よりよいものとして開催できるよう、改善点について検討していきたいと思っています。体育祭について、保護者、地域のみなさまのご協力に感謝申し上げます。

さて、体育祭が終わると、3年生はこれからが進路選択の正念場、10月末から進路懇談が始まっています。私たちが「進路」と言うとき、だいたい「進学」と同義ととらえられることが多いのですが、進路は言うまでもなく進む路^{みち}のことで、これから自分の人生をどう歩いていくのかという大きなものを指しています。

昔、だいたい15歳ぐらいで元服という通過儀礼がありました。服装や髪形を大人のものに改めて、成人の仲間入りをする儀式です。(時代や地方によって年齢には幅があります。織田信長は13歳だったそうです。)現代に当てはめるとちょうど中学校の卒業が15歳ですから、このタイミングで大人の仲間入りをするのは少し早い気がします。大人への準備期間ととらえるとちょうどよいのかもしれません。



では、なにを準備すればよいのか。進路指導と関連付けるなら、「自分で決める」ことではないかと思えます。進学するのか就職するのか、進学するならどの学校へ行くのか、進学先で何を学ぶのか、というようなことを、中3は「自分で決める」のです。体験入学に行き、パンフレットを読み、先生からのアドバイスや先輩の体験談を聞いたりして、それらの情報をもとに保護者とじっくり相談して、保護者の思いも受け止めて、最後は「自分で決める」。中3の生徒にとってはとても大きくて重い決断ですが、自分の人生を自分で決めるのは当然です。これが大人になる準備の一つだと思います。

3年生の生徒が、自信と希望をもって選択・決断できるように、学校でしっかりとサポートしていきたいと思っています。各ご家庭との連携も一層重要になってきます。どうぞよろしくお願いいたします。

1,2年生も、3年生になってから戸惑わないように、自分で何かを決めること、その責任を感じ自信をつけることを大事にしていきたいと思っています。家庭や地域の中でもご協力をお願いいたします。

校長 上代 婦美子

体育祭 今回の体育祭は小中合同で行われる最初の体育祭でした。

観覧に来られた保護者の方々がグラウンドを取り囲む中、盛大に行われました。



赤団



白団

応援合戦の様子：小学生が目の前で見守っています。小中合同開催ならではの光景でした。

肝高(キムタカ)：お昼休憩中の演技でしたが、ほとんどの人が見守る中、今年も力強く、カッコよく演舞してくれました。



小学校と合同開催により、ほんとうにたくさんの保護者の方が観覧されました。



子どもたちの学校づくりの取り組み紹介

体育祭が終わると同時に後期の時間割がスタートしました。そのタイミングで昼休憩と掃除の時間が入れ替わりしました。今までは「給食→昼休憩→清掃→5限授業」の順でしたが、生徒会執行部の働きかけで、「給食→清掃→昼休憩→5限授業」に変わりました。生徒達の働きかけによる、みんながすごしやすい学校づくりの取り組み、いいですね👍



10/28(月)サークル紹介の様子。後期のサークル活動が始まります。

